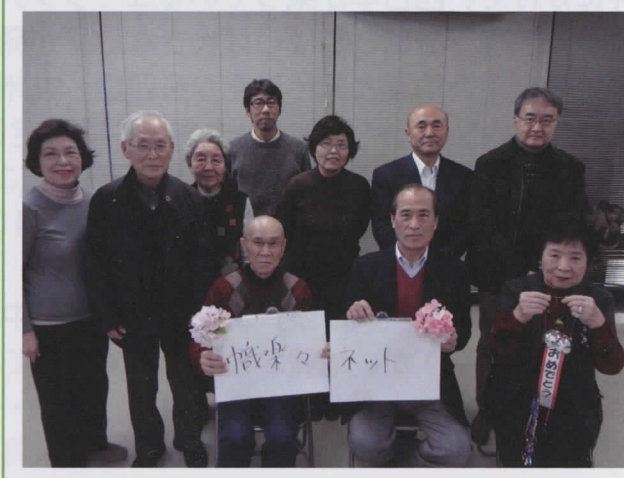


高齢者地域支え合い事業「幟楽々ネット」

幟町地域包括支援センター 佐伯直美

「最近体力が落ちてきた。先々が不安だな」「1人暮らしで、もしもの時が心配」。そんな高齢者の方は多いと思います。地域みんながお互いに見守り、ともに支え合える仕組みを作ろうと、現在幟町地区社協が中心となって、町内会や民生委員、老人クラブ、地域包括支援センターなどが、話し合いをすすめています。名称は老人クラブのサロンにちなんで「幟楽々ネット」に決まりました！詳しいことが決まりましたら、また皆様にお知らせ致します。

ご意見・ご質問などがありましたら、お近くの幟町地区社会福祉協議会の役員さんか、幟町地域包括支援センター（☎222-6608）までご連絡ください。



福祉のまちのぼい No.13

[発行責任者] 幟町地区社会福祉協議会 会長 和田 高明 広島市中区鉄砲町9番5号 電話 082-223-5556 編集者 横田 泰行・真志田 徹・熊谷 浩

中区子ども会冬季体育大会

幟町学区子ども会 山縣元道

ユニカールで優勝！そして総合での3位入賞！！

子ども会行事の中でも、中区で開催される夏の球技大会と冬の体育大会は学区同士で競うせいか、子ども達の最も盛り上がるイベントです。

1月31日に、中区冬季体育大会が開催され、幟からは21人の児童が参加しました。中区全体で14学区17チームがリレー縄跳び、綱引き、ユニカールの3種目で競う中、見事、幟町学区子ども会はユニカールで優勝！そして総合での3位入賞が発表された時は、みんな大喜び！会場は大きな歓声に包まれました。毎週寒い体育館で頑張ってきた練習の成果が実を結び、子ども達も達成感でいっぱいだったと思います。

この喜びをもっと沢山の子ども達と分かち合えるよう、子ども会活動への参加を呼びかけていきたいと思っています。



幟元気あっぷサロンの今年度の日程です！！

日 程	内 容
平成28年 4月21日(木)	音楽と体操
5月19日(木)	転倒予防体操
6月16日(木)	ちぎり絵
7月21日(木)	転倒予防体操
8月18日(木)	折り紙
9月15日(木)	転倒予防体操
10月20日(木)	みんなで歌おう、懐かしい歌♪
11月17日(木)	転倒予防体操
12月15日(木)	クリスマス会
平成29年 1月19日(木)	転倒予防体操
2月16日(木)	元気の秘訣は良い睡眠！
3月16日(木)	転倒予防体操

今年も左の要領で毎月元気あっぷサロンを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

日 時：毎月 第3木曜日 午後2時～4時
 会 場：幟町会館2階C室（八丁堀3-2）
 対 象：幟町地区在住の概ね65歳以上の方
 参加費：100円（飲み物・お菓子代）
 共 催：幟町地区連合町内会・社会福祉協議会
 民生児童委員協議会・女性会
 広島市幟町地域包括支援センター
 連絡先：幟社協会長 和田高明 ☎223-5556
 地域包括支援センター佐伯直美 ☎222-6608

※12月のクリスマス会については改めてご案内致します。

編集後記

昨年実施された国勢調査の速報値では、日本の人口は調査開始以来、初めて減少したそうです。しかしながら、幟町地域では、相次ぐマンション建設で人口は増加していると思います。また、これからますます進むと予想される高齢化社会に備えて幟町地区社会福祉協議会では、紙面でもご紹介していますように、「幟楽々ネット」を立ち上げ、幟町地区が暖かく住みよい地域となるよう頑張っていこうと思っています。どうぞ協力よろしく願いいたします。 真志田 徹



ひろこうフェスタに出演しました 社会福祉協議会カラオケ教室 井上登美子

地域社会と交流するとの目的で久しぶりに開催された広島拘置所のフェスタに出演させていただきました。当日は天候に恵まれ多数の地域の方々の参加もあり盛大に行われました。はじめての舞台なので緊張もありましたが、井原先生のリードで今まで習った、ふたり酒、お岩木山、大和路の恋、ボケない小唄、を披露しました。皆様の前で大きな声を出して歌うということは、少しの緊張と楽しさと達成感と入り交じって、私達のカラオケ教室の目指す「素晴らしい出会いに感謝」の1日でした。これを機会に練習に励み、感謝と笑顔で歌っていきます。

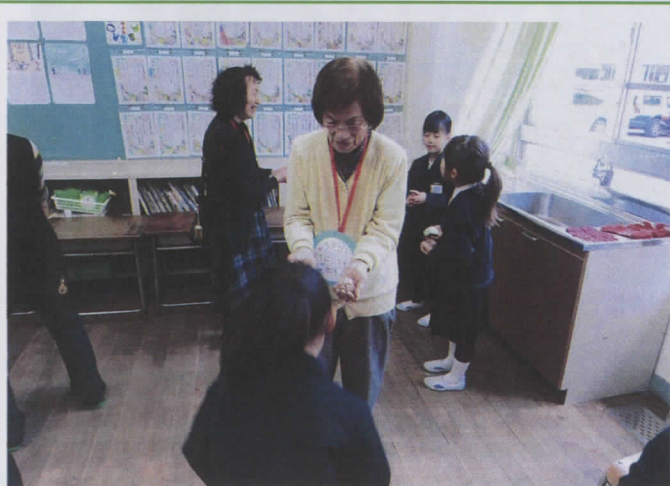


昔からの遊び大会

たかはし よしこ
女性会 高橋 和子

幟町小学校での「昔からの遊び大会」の「お手玉遊び」お相手を依頼され、70年余りの空白に戸惑いつつ俵型のお手玉を6個作り、手馴らしを、、、

「おひとつおひとつ揃えておさらい」昔を思い出して乍ら当日を迎えました。校長先生の御丁寧なお迎えを受け、さあ本番、お手玉を手に、私の顔を見つめる輝いた瞳に吸い込まれるように時は時は流れます。



78名の御子が6名づつ何組となく入れ替わる中、1人1人が納得してお手玉を操れる様にと手先の動かし方を重点に私の手を動かして見せると、すぐに真剣な眼差しで玉を繰り、出来た時の嬉しいお顔は今も目に浮かびます。このような素晴らしいひと時をお考え下さいました先生方に心より感謝申し上げます。と共に次代を生きる御子達にとって戦争の無い平和な明るい世界であります様に願い、祈る日々でございます。本当に有難うございました。

自助・共助が命を助ける 幟町地区自主防災会連合会 河野忠明

今までの幟町地区自主防災会連合会の活動は、広島市中消防署で作成される、中区自主防災会連合会年間スケジュールに参加、協力することで行ってきました。これからは、中区の年間スケジュールにプラスして、幟町地区自主防災会連合会としての自主的な活動が要求されることになります。地区としての自主的な活動が要求されるのは、近未来に起きるであろう「南海トラフ巨大地震」に対し、諸々な対応が必要となるからです。

「南海トラフ巨大地震」は、フィリピン海プレートが、伊豆半島の西から四国沖、沖縄沖にかけて、西日本が乗っているユーラシアプレートの下に潜りこんでいるのが原因です。プレート境界では、しばしば大きな地震が発生しており、過去、名古屋から紀伊半島にかけての東南海地震と紀伊半島から四国・九州にかけての南海地震では、共にマグニチュード(M) 8.5が記録されています。今回仮定している「南海トラフ巨大地震」は、東海地震、東南海地震、南海地震の震源域が別々に動くのではなく、同時に動くことと仮定したものでM8~9になると想定され、発生確率は、10年以内20%、30年以内70%、50年以内で90%といわれています。

「南海トラフ巨大地震」が発生すると、中区では震度6弱、津波は最大3.6mになると想定されていますが、地震は自然現象であって即自然災害ではない。自然災害の規模は、自然現象の前に、人がどのように対応(努力・準備)するかによって軽減することはできません。地震は人を死なせませんが、建物(家具)は人を死なせます。

防災とは、自然現象そのものを無くすることではなく、それが大きな災害につながらないようにすること、命を守る行為です(自助)。例えば、家具を固定する、耐震診断をして対策をとる、非常食の準備をする等です。

【災害対策基本法】第7条2項に

『地方公共団体の住民は、自ら災害に備えるための手段を講ずるとともに、自発的な防災活動に参加する等防災に寄与するように努めなければならない』とあります。

阪神・淡路大震災直後は、道路には瓦礫が散乱し救急車・消防車等公共の助けは駆けつけることができませんでした。また、被害範囲が広範囲であり公的機関の救助を受けることも困難。このような状況において、自分の安全を確認した後、救助を求めている人がおれば、地域の住民が共に助け合い、組織的に行動することが期待されています(共助)。ちなみに、阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋から救出された人のうち約60%が家族・隣人の方々によるものでした。

【広島市自主防災組織設立の推進の大綱】

地域における安全を確保するためには、防災関係機構の活動に加えて、市民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という固い決意と連携意識のもとに災害に対して組織的に行動することが肝要である。

特に大規模災害時には、地域住民の自主防災活動に期待するところはきわめて大きい。このような自主防災活動を効果的かつ組織的に行うため、自主防災組織を設立する。

おわりに、自分の身は自分で守る(自助)と共に、地域の住民が共に助け合う(共助)が必要であることをご理解いただき、「自分のまちは、自分で守る」を押し進めていきたいと願っています。